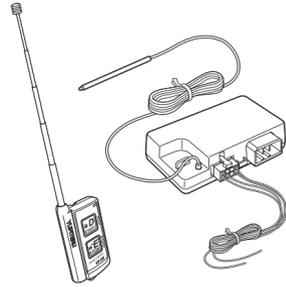


VE-E9

取扱説明書／保証書



このたびは、コピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用のうち、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

警告

取り付けには、専門知識が必要です。

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様に依頼ください。

- 本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- お客様ご自身の取り付け作業に対するサポートは行っておりません。
- お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

- **取り付け可能な車**
- 車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック(AT)車
- CVT車
- 12V車で、⊖アースの車
- ※上記の4つの条件を満たす車以外ではご利用いただけません。
- マニュアル車・外国車には取り付けできません。

電波到達距離（直線見通し）3,000mを実現

高度な通信技術、エンジン始動制御技術の採用により、安したエンジン始動・停止ができます。市街地、住宅地（見通し）約300m（300m～700m）妨害電波の少ない河川道路（見通し）2,000m～最大3,000m（当社測定）
※実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。電波の届かない地下や屋内では表記通信距離より短くなることがあります。
※アンテナの長さやノイズの大きい車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときのほうが短くなることがあります。
※車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲でご使用ください。

ご使用の前に（安全上のご注意）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

絵表示について

- ① 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- ② 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ③ 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。
- この記号は、関連する箇所を示しています。

警告

警告を無視したり取り扱いをすると、死亡したり重傷を負う可能性があります。

- シフトレバーは必ずP（パーキング）の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する。思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない。
- 一般公道での使用や車のボディカバーをかけたまま、換気の悪い場所では使用しない。
- 罰則や発火、排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない。
- 室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する。
- お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。
- 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する。
- エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- 暖機運転の直後にエンジン点検などを行わない。
- 火傷する恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。
- 煙がでている、変な臭いがあるなど、異常な状態のまま使用しない。
- 発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。
- そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しない。感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店に依頼してください。
- 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください。
- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用法を理解されていない方が運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき
- 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する。本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。
- エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルモーターの再飛び込みなどを備える危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドロック未解除のままの発進など、車の安全運転がはたらないままでも動き出すなどの事態をまねく危険性があります。
- 本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない。
- エンジンスタートの安全機能がはたらかず、思わぬ事故につながる場合があります。
- 車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する。
- むやみに操作ボタンを押さない。
- リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ場所で働く場合があります。
- マフラーが雪で覆われるような降雪時に使用しない。
- 排気ガスが車内に充満すると大変危険です。

注意

注意を無視したり取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

- あらかじめ駐車時には以下のことを守る。
- ワイパー、ラジオ（オートアンテナ車の場合）をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また積雪や凍結した場合は、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
- すべての窓を閉めおいてください。
- すべてのドアを施錠（ロック状態）してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときや、必ず輪止めをしてください。
- 地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。

仕様

■送信機（リモコン） 適合技術基準 送信周波数 送信出力 送信時間制御 使用電池 動作温度範囲 寸法 重量	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備 426MHz帯 1mW 送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上 リチウム電池 CR2032 x 1 -10℃～+50℃ 29 (W) × 50 (H) × 11 (D)mm (突起部含まず) 約19g（電池含む）	■受信機（メインユニット） 受信周波数 電源電圧 消費電流 動作温度範囲 寸法 重量	426MHz帯 12V車専用（DC9～16V） スリープ時：約4mA以下 待機時：約8mA 最大：約300mA -20℃～+60℃ 111 (W) × 26 (H) × 61 (D)mm (突起部含まず) スパラルアンテナ：約2.4m 約105g
--	---	---	--

主な別売品

※別売品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

- ドアロック/アンロック機能（別売品A-175F：キーレスエントリー）**
離れた場所から、本機リモコンでドアロック（施錠）/アンロック（解錠）ができます。別売品のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。※適応車種限定 弊社エンジンスタート車種別専用ハーネス適応表をご確認ください。
- ハザードアンサーバック機能（別売品A-185F：ハザード制御）**
本機でのエンジン始動時、ハザードランプを3回点滅させてエンジンがかかったことをお知らせします。また、本機でのドアロック/アンロック時にハザードランプを点滅（1回/2回）させることができます。
- ドアミラーコントロール機能（別売品A-355F：ドアミラーコントロール）**
本機リモコンのドアロック/アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。※適応車種限定 弊社エンジンスタート車種別専用ハーネス適応表をご確認ください。

ご使用にあたって

使用上のご注意

- 車から降りる際にワイパーなどの電源をOFFにしてください。ワイパーの凍結などで過大な負荷がかかると、車種別専用ハーネスのヒューズが切れたり、車を故障させることがあります。
- 整備や車検などで、第三者に車を預けるときは、不意のエンジン始動を避けるため、リモコンの電池を抜いてください。
- 国産車の多くは、走行中(エンジン始動中)、安全のために純正キーレスエントリーやスマートキーなどをキャンセルする仕様となっております。

- 本機でのアイドルリング中、純正キーレスなどの操作が無効となる場合、ドアの鍵や車のドアロック機能（別売品対応）でドアロック/アンロックを行ってください。
- オートクルーズシステムや電動チルトステアリング、ドライブシャフトポジションシステムの装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機のエンジン始動ができにくくなります。

リモコンについて

- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは脆易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
- 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の低い場所。
- リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。
- 電池が消耗するとリモコン操作ができなくなりますので、車のキーは必ず携帯してください。
- キーでエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効になります。

本機について

- **オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車などで、本機をご使用になる場合**
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車で、夜間本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動した場合、ライトが点灯して、エンジン停止した後も消灯しません。
- 暗くなるなど自動的にライトが点灯するシステム、エンジンが停止した後、降車のためにドアを開閉することでライトが消滅します。

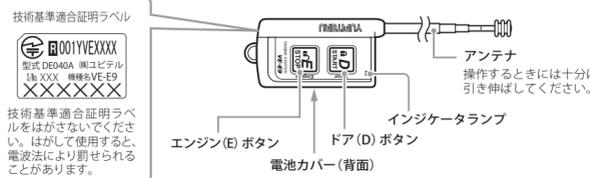
電波法について

- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

1 各部の名称とはたらき

リモコン

本機リモコンは、ダブルアクション操作（2回押し操作）により誤作動を防止しています。最初にエンジン(E) ボタンを押した場合は、エンジンスタートの操作となり、最初にドア(D) ボタンを押した場合は、ドアロック/アンロックのキーレス操作*ができます。



- ※・別売品のキーレスエントリー：A-175F接続のみドアロック/アンロック動作が行えます。A-175Fの他に、別売品のアダプターやハーネスが必要となる場合があります。
- ・車種によって、ドアロック/アンロック機能を使用できない場合があります。

2 電池交換のしかた

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。電池交換中は車両周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分にご注意ください。

- **電池の交換時期について**
リモコンのインジケータランプが点灯から点滅にならなくなったり、操作ができる距離が短くなったり、電池寿命について、早めに新しい電池と交換してください。
- **電池寿命の目安**
約1年を目安に新しい電池（CR2032）と交換してください。

- 電池寿命を使用する条件によって異なります。
- 同梱内蔵の電池はモーター用です。モーター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。
- 指定の電池（CR2032）以外は使用しないでください。



- ※ ネジ、部品の紛失に注意してください。
- ※ ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれる原因となります。
- ※ 内部のネジなどには触れないでください。分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

警告
使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・火傷の原因となる場合があります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

3 エンジン始動の操作

リモコンの操作

- 1 エンジン (E) ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す
- 2 インジケータランプが点滅中（約3秒間）に、ドア (D) ボタンを押す
インジケータランプが点滅から、点灯（約2秒間）へ変わりスタート信号が送信されます。
- 3 リモコンからの信号を受信すると
- 4 エンジンが始動される

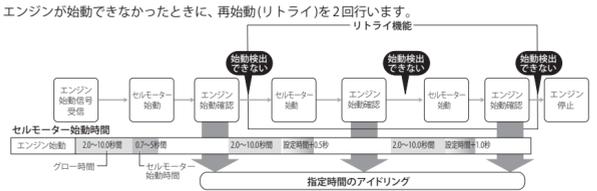
- 始動すると、アイドルリング中はメインユニットから断続音が鳴り続けます。（本機でエンジンを始動させたことをお知らせします）
- 始動しなかったときは、リトライ機能がはたらきます。
- 別売品のハザード制御：A-185Fを接続しているとき、エンジン始動後、ハザードランプを3回点滅させて、エンジン始動をお知らせします。
- 始動した後、設定されている時間*が経過すると自動的にエンジンは停止します。
※2分から30分。（アイドルリング時間の設定は ● ④ エンジンスタートの設定参照）

リモコンを操作するときは

- ・アンテナを完全に引き伸ばし、垂直に立てて操作してください。
- ・アンテナを手で覆ったり、触れた状態で操作すると電波が飛びにくくなります。

注意
降る際はワイパーの電源を「OFF」にしてください。
凍結や積雪でワイパーが動かかない状態でエンジン始動を行うと、車種別専用ハーネスのヒューズ切れや車両を故障させることがあります。

リトライ機能とセルモーター始動時間について



※ オルタネータ線を接続した場合、エンジンの始動を検出すると、セルモーターを停止します。
※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができます。再始動（リトライ）を繰り返す場合があります。このような場合は、始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してください。（● ④ エンジンスタートの設定）
※ 始動判定方法選択を「特殊判定」に変更しても、再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線（白線）の接続が必要です。

4 エンジン停止の操作

本機でエンジンを始動したときは、以下の操作でエンジンを停止（アイドルリングを中止）することができます。

リモコンの操作

- 1 エンジン (E) ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す
- 2 インジケータランプが点滅中（約3秒間）にもう一度、エンジン (E) ボタンを押す
インジケータランプが点滅から、点灯（約2秒間）へ変わりストップ信号が送信されます。
- 3 エンジンが停止する

メモ

- ・本機によるエンジン始動中、車載電装品のノイズ等による影響で、リモコンの通信距離が短くなることがあります。
- ・エンジンが始動できなかった場合、上記の操作（エンジン (E) ボタンの2度押し）で始動エラー音を確認することができます。（始動エラー音については ● ④ こんなときは参照）

注意
ライトスイッチは「OFF」に
ドアの開閉でライトが消灯するオートライトシステムやコンライトシステム搭載車では、「AUTO」の状態では本機でエンジン始動をした場合、ライトが点灯し、エンジン停止した後も消灯しません。

5 車に乗るときは

安全のため、いったんエンジンを停止させた後、必ず車両本来の操作（キー操作など）でエンジンを始動してください。

走行する際

- 1 リモコン操作でエンジンを停止させる
- 2 車両本来の操作（キー操作など）で、エンジンを始動させる

6 ドアロック/アンロックの操作

別売品のキーレスエントリー：A-175Fの接続が必要です。
※別売品のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合やドアロック/アンロック機能を使用しただけの場合があります。

ドアを開める（ドアロック）

- 1 ドア (D) ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す
- 2 インジケータランプが点滅中（約3秒間）にもう一度、ドア (D) ボタンを押す
インジケータランプが点滅から、点灯（約2秒間）へ変わり、ドアロック信号が送信されます。

- ※ 別売品のハザード制御：A-185Fを接続すると、ハザードランプを1回点滅させて、ドアがロックされたことをお知らせします。

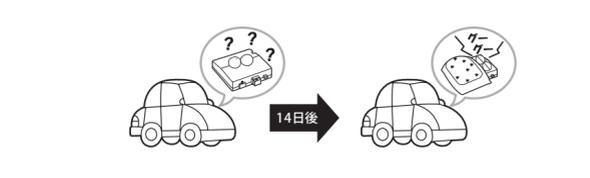
ドアを開ける（ドアアンロック）

- 1 ドア (D) ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す
- 2 インジケータランプが点滅中（約3秒間）に、エンジン (E) ボタンを押す
インジケータランプが点滅から、点灯（約2秒間）へ変わり、ドアアンロック信号が送信されます。

- ※ 別売品のハザード制御：A-185Fを接続すると、ハザードランプを2回点滅させて、ドアがアンロックされたことをお知らせします。

7 スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能がはたらきます。スリープ機能がはたらくと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度車両本来の操作（キー操作など）でエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

8 安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション検出

シフトレバーがP（パーキング）またはN（ニュートラル）ポジション以外の場合は、本機によるエンジンの始動やターボタイマー機能は動作しません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだだけの状態（ONポジションまで回さない状態）でシフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※ 一部の車両では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへブレーキ検出線の接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがP（パーキング）の位置以外ではエンジンを始動できません。

■ エンジン自動停止機能

本機でエンジン始動した後、設定した時間（アイドルリング時間）が経過するとエンジンが自動的に停止します。

■ 誤作動を防ぐIDコード

1個通りの中から商品ごとに個別のIDコードが設定されており、他の電波による誤作動を防止します。

9 ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドリングを自動的に行う機能です。なお、本機はこのターボタイマー機能を使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。アフターアイドリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、ターボのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、P(パーキング)またはN(ニュートラル)にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いた後も、アフターアイドリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ました後、エンジンを停止させます。

※ターボタイマー機能は、シフトレバーがP(パーキング)または、N(ニュートラル)の位置でないと動作しません。ただし、P・ポジション検出ができない車両でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがP(パーキング)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

※ターボタイマー機能は、動作開始から約1秒後にACC電源がONになる動作仕様となっております。ターボタイマー動作のキッカケとして、キーOFF時に一度、ACCがOFFになります。車本来の動作とするため、ACC電源を再度ONに戻しています。

※ターボタイマー機能は、動作開始から約1秒後にACC電源がONになる動作仕様となっております。ターボタイマー動作のキッカケとして、キーOFF時に一度、ACCがOFFになります。車本来の動作とするため、ACC電源を再度ONに戻しています。

■オート方式のアフターアイドリング時間

走行時間にあわせて、アフターアイドリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフターアイドリング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒間
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※走行時間は、シフトレバーがP(パーキング)またはN(ニュートラル)以外の位置に移動している時間をカウントしています。

※ターボタイマー機能のアフターアイドリング時間は、シフトレバーがP(パーキング)に移動したことを検出した時点で開始します。

注意

ご使用になる車種により、まれに正常にはたらかないことがあります。このようときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。

■ターボタイマー機能の設定

本書「エンジンスタートの設定」でターボタイマー機能のON/OFFを設定できます。(10)エンジンスタートの設定)

■ターボタイマー機能を使用すると

ターボタイマー機能をONに設定し、走行後、シフトレバーをP(パーキング)またはN(ニュートラル)にすると、自動的にアフターアイドリング動作を開始します。

※アフターアイドリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※給油等でアフターアイドリングが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、いったんシフトレバーをDまたはRの位置にすると、エンジンを停止させることができます。

10 エンジンスタートの設定

本機は車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更させないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

ご注意

「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更させないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セル時間の設定 (設定には専門知識が必要です)

車にあった、セル時間を0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0秒の7段階から選択できます。セルモーターの引きずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※初期設定は「1.0秒」に設定されています。

ポイント

オルタネータ線(白線)を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができること、セルモーターを停止します。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。セル時間の設定項目(右記項目音「ピッ」)自体が出なくなります。

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を2/10/15/20/30分の5段階から選択できます。

※初期設定は「10分」に設定されています。

グロー時間の設定

リモコンからの電波を受信後、セルモーターを回すまでの時間を2.0/3.0/5.0/7.0/10.0秒の5段階から選択できます。

一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。ホンダ車や上記のような一部のディーゼル車を除き、リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しなくても構いません。

※初期設定は「5.0秒」に設定されています。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

ターボタイマー機能のON/OFFが設定できます。※初期設定は「OFF」に設定されています。

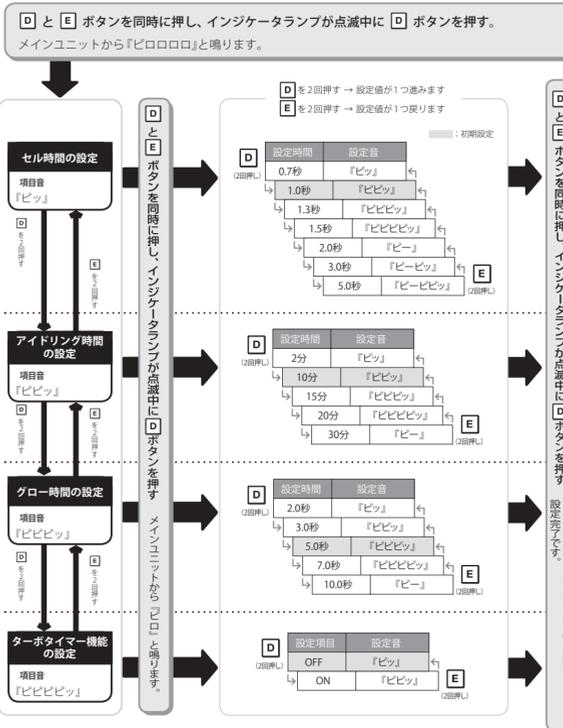
ご注意

アフターアイドリング時間を手動で設定することはできません。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。ターボタイマー機能の設定項目(右記項目音「ピッピッ」)自体が出なくなります。

下記手順では、ドア(D)ボタンを[D]ボタン、エンジン(E)ボタンを[E]ボタンと表記しています。



※項目音、設定音はメインユニットから鳴ります。※30秒以上ボタン操作がないと、メインユニットから「ブブー」と鳴り、設定内容を無効にします。初めから操作をやり直してください。

本機は車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意

「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更させないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セルモーター停止タイミング検出方法選択 (設定には専門知識が必要です)

セル時間を設定してもセルモーターの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモーターの引きずりがない場合は、設定変更しなくても構いません。

※初期設定は「オルタネータ検出」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。セルモーター停止タイミング検出方法選択の項目(右記項目音「ギロ」)自体が出なくなります。

始動判定方法選択

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。エンジンが正常に始動したにもかかわらず、1分程度で停止してしまう場合に、設定を「特殊判定」に変更してご使用ください。

※初期設定は「判定する」に設定されています。

IG設定 (設定には専門知識が必要です)

ホンダ車など車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定を変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

※初期設定は「IG1+IG2」に設定されています。

エンジンスタート特殊制御設定 (設定には専門知識が必要です)

車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定を「OFF」に変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

※初期設定は「ON」に設定されています。

オールリセット

エンジンスタートの設定 (10 エンジンスタートの設定) を初期設定に戻します。

11 車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている場合 (バッテリー交換やバッテリー上がり、本体移設後の操作)

バッテリー上がりやバッテリー交換、車種別専用ハーネスの取りはずし等で常時電源が断れた場合は、メインユニットから『ピピピッ ピピピッ・・・』が鳴り、P(パーキング)・ポジションの設定がリセットされたことを知らせます。

※P(パーキング)検出がリセットされると、本機によるエンジン始動ができません。

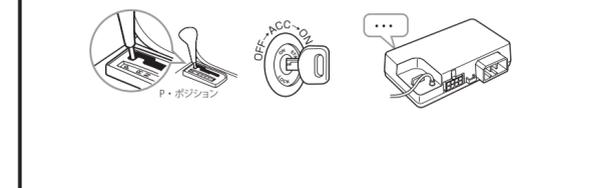
車のバッテリー交換やバッテリー上がり、エンジンスタートを付け替えた場合は、下記の手順でP(パーキング)・ポジションの検出・設定を行ってください。

P・ポジション検出の設定手順

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。※何も音が鳴っていない場合は、「車種別専用ハーネスの抜き差し」や「バッテリーマイナス端子の脱着」を行ってから、下記の手順で再設定を行ってください。

1 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したまま、エンジンキー(エンジンスイッチ)をOFF→ACC→ONと切り替えます。メインユニットからの『ピピピッピピピッピピッ・・・』音が止まります。

※ブレーキペダルを踏んだままエンジンキーをONにすると、正しく設定できないことがあります。



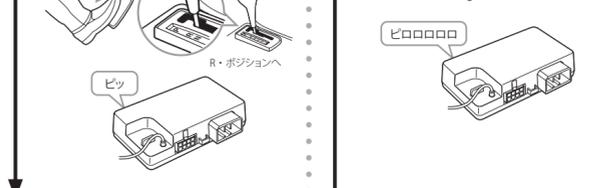
2 ブレーキペダルを踏み込み、確認音『ピッ』が鳴るか確認する

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴らなかった場合

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴った場合

3 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをP(パーキング)からR(リバース)に切り替える

約3秒後に確認音『ピッ』が鳴ります。



4 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをP(パーキング)に戻す

『ピー』音または『ピロロロロ』音が鳴ります。

以上で設定完了です

エンジンキー(エンジンスイッチ)をOFFに戻し『ピピピッピピピッピピッ・・・』音が鳴らないことを確認してください。

12 リモコンの登録方法

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

※リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。※手順の途中でメインユニットから記載通りに音が鳴らない場合は、手順5に進み、再度手順1から操作を行ってください。

1 メインユニットからコネクター1ははずし、再度接続する

『ピピピッピピピッピッ・・・』と確認音が連続して鳴ります。



2 キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り替える

メインユニットから約3秒後に『ピッ』と鳴ります。



3 『ピッ』と鳴ってから20秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作(エンジン(E)ボタン)を押す、インジケータランプが点滅中にもう一度エンジン(E)ボタンを押す

10秒以内に再度エンジン停止操作(エンジン(E)ボタン)を押す、インジケータランプが点滅中にもう一度エンジン(E)ボタンを押す



メインユニットから『ピッ』と鳴ります。※メインユニットから『ピッ』と鳴らないときは、キーをOFFにして再度2の操作からやり直してください。

13 こんなときは

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

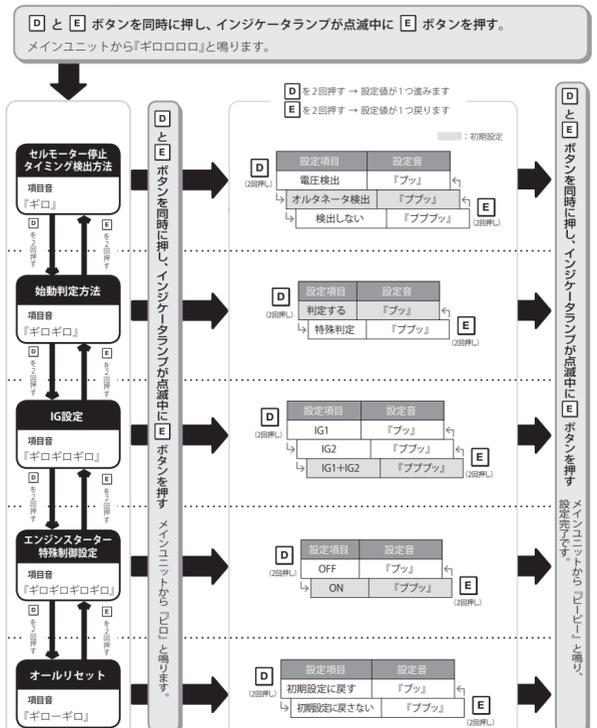
症状	チェック項目	実施項目
操作ボタンを押してもリモコンのインジケータランプが点滅や点灯しない	・電池が消耗していませんか? ・電池が正しく入っていますか?	・新しい電池と交換してください。 ・電池を正しく入れてください。 ●電圧交換のしかた
リモコン操作でエンジンが始動または停止できない	・スリープ機能がはたらいていませんか? ●スリープ機能について	・1度キーでエンジンをかけてください。
・シフトレバーがP(パーキング)ポジションになっていませんか?	・エンジンスタートの設定が正しく設定されていますか?	・シフトレバーをP(パーキング)ポジションにしてください。 ・正しく設定してください。●エンジンスタートの設定)
・P・ポジション検出ができていますか?	・P・ポジション検出ができていますか?	・一部の車両では、P・ポジション検出ができないものや、できないものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプペダラーキ検出線の接続が必要です。(接続しないと、本機は動作しません)
・車と離れすぎいませんか?	・車のバッテリーが弱っていませんか?	・電波の届く範囲内で操作を行ってください。 ・バッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション検出が必要です。
・キー操作でエンジンが始動しますか?	・キーでエンジンを始動していませんか?	・車の点検をしてください。 ・キーでエンジンを停止してから行ってください。
・リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていますか?	・リモコンのアンテナに手を触れていませんか?	・アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。 ・アンテナに手を触れないで操作を行ってください。
リモコン操作できる距離が短い	・リモコンの電池が消耗していませんか?	・新しい電池と交換してください。
・車とリモコンの間に、障害物がありますか?	・リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていますか?	・障害物のない場所から操作を行ってください。 ・アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。

始動エラー音について

本機の動作に不具合があったときは、このエラー音を確認して、取り付け店または弊社にご相談窓口にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
ピッピッピッピッピッ	Pポジションの検出ができていません。 ●車内で『ピッピッピッピッ』音が鳴っている場合)
ピーピー	エンジンスタート動作中断時 P・ポジション検出
ピーピー	エンジンスタート動作中断時 プレーキ検出
ピーピー	エンジンスタート動作中断時 電圧異常
ピーピー	エンジンスタート動作中断時 オルタネータ異常
ピッピッピッ	キー飛び込み検出
ピーピーピー	エンスト検出
ピーピー	エンジン始動異常
ピッピッピッ	ターボタイマー動作中断時溶着検出

下記手順では、ドア(D)ボタンを[D]ボタン、エンジン(E)ボタンを[E]ボタンと表記しています。



※項目音、設定音はメインユニットから鳴ります。※30秒以上ボタン操作がないと、メインユニットから「ブブー」と鳴り、設定内容を無効にします。初めから操作をやり直してください。

14 アフターサービスについて

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

「取付・接続説明書」や本書に従った、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書に従って修理いたします。また、本機取り付けによる車両や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- 保証書 保証書は、必ず「販売店」・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日から3年間です。(リモコンは1年、電池等消耗品を除く)
- 対象部分 機器本体(消耗品は除く)
- 修理をご依頼されるとき 「こんなときは」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

ご購入ご購入等でご本保証書に記入するお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のおとき 保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユビタレご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同商品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター ☎ 0120-998-036

※お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりません。